

第 4 章 委託訓練の結果と検証

第4章 委託訓練の結果と検証

機構、千葉支部千葉職業能力開発促進センター高度訓練センター（以下、「高度ポリテクセンター」という。）が募集、入所選考などの事務手続きを担当した。募集期間は平成28年12月12日から平成29年1月31日、入所選考日は平成29年2月13日であった。なお営業販売分野については募集が低調であったため、追加募集を平成29年2月6日から13日まで行い、合わせて入所選考を2月17日に行った。入所選考、入所式の会場は高度ポリテクセンターである。

第1節 委託訓練の結果

図表22に応募者数と入所者数を示す。

図表22 応募者数と入所者数

分野	応募者数 (人)	応募率 (%)	入所者数 (人)	入所率 (%)
総計	40	88.9	33	73.3
管理監督者分野	19	126.7	14	93.3
営業販売分野	5	33.3	5	33.3
介護分野	16	106.7	14	93.3

図表22より、応募者数は総計40人、応募率は88.9%であった。特に管理監督者分野の応募者が多く、営業販売分野の応募者が少ない結果であった。

入所者数は総計33人、入所率は73.3%であった。

図表23に修了者数と就職者数を示す。なお就職者については、訓練修了後3ヶ月まで追跡調査している。修了率、就職率は入所者数に対する比率である。

図表 23 修了者数と就職者数

分野	修了者数 (人)	修了率 (%)	就職者数 (人)	就職率 (%)
統 計	26	78.8	29	90.6
管理監督者分野	10	71.4	12	92.3
営業販売分野	5	100.0	3	60.0
介護分野	11	78.6	14	100.0

図表 23 より修了者数は総計 26 人、修了率は 78.8%であった。入所者数に比べて、修了者数が低下した理由は、訓練期間中に就職が決定し、退所した訓練受講者がいたためである。該当者は管理監督者分野で 3 人、介護分野で 3 人である。

また就職率が 90.6%であった。中高年向けの職業訓練として検証した結果、高い就職率を有し、中高年再就職支援訓練プログラムは中高年齢者の再就職に有効であったと言える。

第2節 委託訓練カリキュラム（実施版）

委託訓練を実施していく上で、3分野各科共に訓練中にカリキュラムの変更が生じた。変更部分は軽微なものである。訓練実施機関より報告された訓練時間数を図表24に示す。

図表 24 訓練時間数（実施版）

（時間）

分野	合計	ビジネス スキル	専門分野	企業実習	情報 リテラシー	就職活動 実践力	調整時間	行事
管理監督者分野	634	83	312		60	120	54	5
営業販売分野	514	17	258		120	102	12	5
介護分野	459	10	222	30	108	72	12	5

図表15の提案版と比較すると、介護分野：職場で役立つ介護職員初任者研修&パソコンスキルコースにおいて、調整時間が12時間追加された。また各科に行事（入所式など）の時間が追加された。

ムラタ有限会社 東芝OAスクールから報告された日別計画表（実施版）を図表25に示す。

株式会社夏目FPオフィスから報告された日別計画表（実施版）を図表26に示す。

株式会社建築資料研究社 日建学院船橋校から報告された日別計画表（実施版）を図表27に示す。

図表 25 日別計画表（実施版） オフィスマネジメント科

1 か 月 目	月	3																																
	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31		
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
	訓練内容	入所式／オリエンテーション	ヒューマンスキル オリエンテーション	就職活動実践力				ビジネス実務演習	ビジネス実務演習	ビジネス実務演習	情報リテラシー	情報リテラシー		就職活動実践力	情報リテラシー	情報リテラシー	情報リテラシー	ヒューマンスキル				就職活動実践力	ビジネス実務	ヒューマンスキル	相談日			就職活動実践力	ビジネス実務	ヒューマンスキル	キャリアコン	キャリアコン		
時間	0/2	1/5	6			6	6	6	6	6			6	6	6	6	6				6	6	6				6	6	6					時間小計
		2	6	6			6	6	6	6			6	6	6	6	6				6	6	6				6	6	6					110

[illegible]

3 か月目	月	5																															
	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	
	訓練 内容	就職活動実践力	相談日						ヒューマンスキル	ビジネス実務	ビジネス実務	キャリアコン	キャリアコン			就職活動実践力	ビジネス実務	ビジネス実務	ビジネス実務	ビジネス実務			就職活動実践力	ビジネス実務	ビジネス実務	ビジネス実務	ビジネス実務	ビジネス実務	就職活動実践力	ビジネス実務	ビジネス実務		
時間	6								6	6	6					6	6	6	6	6			6	6	6	6	6			6	6	6	102

[illegible]

図表 26 日別計画表（実施版） 営業・販売スキル養成科

1 か 月 目	月	3																																				
	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31						
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金						
	訓練 内 容	入所式（1H）	オリエンテーション（1H） オリエンテーション（2H）	学科（ヒューマンズキル）②				学科（ヒューマンズキル）③	安全衛生（3H） コンプライアンス（3H）	実技（営業販売パソコン基礎実習）	実技（営業販売文書作成／基礎）①				実技（営業販売文書作成／基礎）②	実技（営業販売文書作成／基礎）③	実技（営業販売文書作成／応用）①	実技（営業販売文書作成／応用）②				実技（営業販売文書作成／応用）③	実技（営業販売文書作成／応用）④	学科（就職活動実践力支援講習）①	学科（就職活動実践力支援講習）②			学科（就職活動実践力支援講習）③	キャリアコン①	キャリアコン①	学科（ビジネスコミュニケーション講習）①	学科（ビジネスコミュニケーション講習）②						
	時間	2	6	6				6	6	6	6				6	6	6	6				6	6	6	6			6			6	6					104	

[illegible][illegible]

4 か 月 目	月	6																															
	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30		
	曜	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金		
	訓練内容	実技（マーケティング実習）④	実技（マーケティング実習）⑤				学科（就職活動実践力養成講習）⑪	学科（就職活動実践力養成講習）⑫	キャリアコン③	キャリアコン③				学科（営業販売活動実習）①	学科（営業販売活動実習）②	学科（営業販売活動実習）③	学科（営業販売活動実習）④	学科（営業販売活動実習）⑤				学科（営業販売活動実習）⑥	学科（営業販売活動実習）・調整時間	学科（営業販売活動実習）⑦	学科（営業販売活動実習）⑧				学科（就職活動実践力養成講習）⑬	実技（プレゼンテーション実習）①	実技（プレゼンテーション実習）②	実技（プレゼンテーション実習）③	
	時間	6	6				6	6					6	6	6	6	6				6	6	6	6				6	6	6	6		時間小計
																																	102

[illegible]

時間合計	514
------	-----

図表 27 日別計画表（実施版） 職場で役立つ介護職員初任者研修&パソコンスキルコース

1 か 月 目	月	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	
	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
	訓練 内容	入所式・オリエンテーション（2H）	オリエンテーション（2H）／学科 ヒューマンスキル①（4H）	学科 介護初任者 知識①	学科 介護初任者 知識②		学科 介護初任者 知識③	学科 介護初任者 知識④		学科 介護初任者 知識⑤	学科 安全衛生①（2H）／学科 介護初任者 知識⑥	学科 介護初任者 知識⑦		学科 介護初任者 知識⑧	学科 介護初任者 知識⑨		学科 就職活動実践力①	学科 介護初任者 知識⑩	学科 就職活動実践力②		学科 介護初任者 知識⑪		学科 就職活動実践力③	学科 介護初任者 知識⑫		学科 介護初任者 知識⑬	学科 介護初任者 知識⑭	学科 介護初任者 知識⑮	キャリアコンサルティング①	学科 就職活動実践力④	学科 介護初任者 知識⑯	
時間	2	6	6	6		6	6		6	6	6		6	6		6	6	6		6		6	6			6	6		6	6	時間小計	
	122																															

2 か 月 目	月	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4	4		
	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	
	曜	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	
	訓練 内容	実技 介護初任者 演習①		実技 介護初任者 演習②	学科 就職活動実践力⑤		実技 介護初任者 演習③	実技 介護初任者 演習④	実技 介護初任者 演習⑤		学科 就職活動実践力⑥	実技 介護初任者 演習⑥		学科 介護初任者 知識⑦ (4H)	実技 介護初任者 演習⑧		実技 介護初任者 演習⑨	学科 就職活動実践力⑦		実技 介護初任者 演習⑩	実技 介護初任者 演習⑪	キャリア コンサル手 キング②		学科 介護初任者 知識⑧	学科 介護初任者 知識⑨	企業 実習①	企業 実習②	企業 実習③				
時間	6		6	6		6	6	6		6	6		6	6	6		6	6		6	6			6	6	6	6	6				時間 小計
																															120	

3 か 月 目	月	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5			
	日	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
	曜	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水
訓練 内 容	企業 実習 ④	企業 実習 ⑤						実技 介 護 初 任 者 演 習 ⑫	学 科 ヒ ュ ー マ ン ス キ ル ②	キ ャ リ ア コ ン サ ル テ ィ ン グ ③	実技 パ ソ コ ン 演 習 ①	実技 パ ソ コ ン 演 習 ②	実技 パ ソ コ ン 演 習 ③		学 科 就 職 活 動 実 践 力 ⑧	実技 パ ソ コ ン 演 習 ④		実技 パ ソ コ ン 演 習 ⑤	実技 パ ソ コ ン 演 習 ⑥			実技 パ ソ コ ン 演 習 ⑦	実技 パ ソ コ ン 演 習 ⑧		実技 パ ソ コ ン 演 習 ⑨	実技 パ ソ コ ン 演 習 ⑩			実技 パ ソ コ ン 演 習 ⑪	就 職 活 動 実 践 力 ⑨		
時間	6	6						6	6		6	6	6		6	6		6	6			6	6		6	6			6	6		102

[illegible]

時間合計	460
------	-----

第3節 中高年再就職支援訓練プログラムの検証方法

中高年再就職支援訓練プログラムの検証については、訓練受講者に対するアンケート調査とヒアリング調査を実施し、その分析結果を委員会で協議することにより行った。

3-1 アンケート調査

○調査対象

訓練受講者全員、全数調査

○調査時期

訓練開始時：平成 29 年 3 月 1 日	3 分野、全科
訓練中間時：平成 29 年 5 月 11 日	介護分野、職場で役立つ介護職員初任者研修&パソコンスキルコース
：平成 29 年 6 月 27 日	管理監督者分野、オフィスマネジメント科
：平成 29 年 6 月 28 日	営業販売分野、営業・販売スキル養成科
訓練修了時：平成 29 年 6 月 30 日	介護分野、職場で役立つ介護職員初任者研修&パソコンスキルコース
：平成 29 年 7 月 31 日	営業販売分野、営業・販売スキル養成科
：平成 29 年 8 月 31 日	管理監督者分野、オフィスマネジメント科

○調査項目

図表 28 アンケート調査項目

			① 入所時	② 中間時	③ 修了時
1 受講生概要	性別	男性、女性	○		
	年代	40代、50代、60代	○		
	過去の就業経験	雇用形態（正規、非正規、自営）、勤続年数、業種（訓練内容と関連、非関連）、離職理由（定年、人員整理、倒産、自己都合）	○		
	受講理由	安定した生活、経験を活かした技能・技術修得、新たな技能技術の習得、資格取得、職種選択の拡大	○		
	就職希望	職種（前職経験を活かした職種、新たな職種、未定）、雇用形態（正規、非正規、自営、未定）	○		
	就職状況	職種（前職経験を活かした職種、新たな職種、内定、未定）、雇用形態（正規、非正規、自営、未定）			○
2 訓練内容	関心度	専門科目、共通科目、中高年特化訓練（職務経験、職業意識の棚卸等）、企業実習、再就職支援	○		
	理解度	専門科目、共通科目、中高年特化訓練（職務経験、職業意識の棚卸等）、企業実習、再就職支援		○	○
	有益度	専門科目、共通科目、中高年特化訓練（職務経験、職業意識の棚卸等）、企業実習、再就職支援		○	○
3 行動変容 （自己理解の促進）	仕事の理解	職務の洗い出し→目標の明確化（不足能力、活かせる能力）	○	○	○
	職業意識	職業意識の洗い出し→これからの働き方（改善点の気づき、経験の活かし方）	○	○	○
	自信度	面接、就職への自信	○	○	○
4 訓練方法	集団訓練の指導方法	説明のわかりやすさの良否		○	○
	個別対応（調整時間）	「選択科目、個別相談、自学自習、補講」の有無、良否→良否の理由		○	○
	配慮事項	繰り返しの説明、大きな文字、機能低下に伴う補助具（照明器具、作業台高さ等）、余裕のある時間設定		○	○
5 受講環境	施設・機材の整備	教室、実習場、PC等の機材、ホワイトボード等の教具の良否			○
	教材の整備	テキスト、配布資料、PCソフトの良否			○
6 全体評価	満足度	訓練内容、訓練方法、受講環境、その他要望事項（自由記述）			○

○調査方法

集合調査法（アンケートを配付し、その場で回答、回収を行う方法）により、調査を行った。

アンケートは、入所時に設定した番号を一貫して記載することとした。これにより継続した調査を可能とした。

○回答状況

図表 29 から図表 31 において、入所時、中間時、修了時の回答状況を示す。

図表 29 入所時アンケート回答者数

分野	回答者 (人)	回収率 (%)
総 計	33	100.0
管理監督者分野	14	100.0
営業販売分野	5	100.0
介護分野	14	100.0

図表 30 中間時アンケート回答者数

分野	回答者 (人)	回収率 (%)
総 計	33	100.0
管理監督者分野	14	100.0
営業販売分野	5	100.0
介護分野	14	100.0

図表 31 修了時アンケート回答者数

分野	回答者 (人)	回収率 (%)
総 計	25	75.8
管理監督者分野	10	71.4
営業販売分野	5	100.0
介護分野	10	71.4

なお回収率は、入所者数に対する割合として算出している。

3-2 ヒアリング調査

○調査対象

各科の訓練受講者2人ずつ、計6人

訓練実施機関に対してヒアリング調査の協力依頼を行い、対象となる訓練受講者を選出

○調査時期

訓練修了時：平成29年6月29日 介護分野、職場で役立つ介護職員初任者研修&パソコンスキルコース

：平成29年7月27日 営業販売分野、営業・販売スキル養成科

：平成29年8月30日 管理監督者分野、オフィスマネジメント科

○調査項目

委託訓練へ応募するまでの流れについて

中高年齢者向けの職業訓練について

職業意識の転換、維持、向上について

就職について

3-3 分析指針

カークパトリックの4段階評価法²を参考に、取りまとめた分析指針を図表32に示す。

図表 32 分析指針

レベル	説明
1満足度	受講者は訓練に満足しているか？
2習得度	受講者が訓練で何を習得したか？
3行動変容度	受講者が、訓練で習得したことにより行動が変容したかどうか？
4成果達成度	受講者の行動変容により、最終的に就業先への影響があったかどうか？

レベル1では、訓練を通じて、今までの職務経験を活かしつつ職務能力の磨き直し、向上が図ることができたか、また新たな職務に対して、職種転換を図ることができたかなどを確認するために、訓練内容、訓練方法など訓練全体に対する満足度を検証する。

レベル2では、中高年齢者は個別性が高いことから、個別対応を工夫することで到達度が上がったか、また中高年齢者の特性に配慮することで到達度に違いが見られるかなどを確認するために、訓練カリキュラムの内容をどれだけ習得できたかの習得度を検証する。

レベル3では、就職活動実践力を実施することにより、仕事への理解が深まったかどうか、職務経験、職業意識の棚卸しにより自己理解が進んだかどうか、また新たな就職先へ

² カークパトリック：アメリカの経済学者、4段階評価法：1959年に提案された教育の評価法のモデル

の自信がついたかなどを確認するために、数回にわたるアンケートにより訓練受講者の行動がどのように変化したかの行動変容度を検証する。

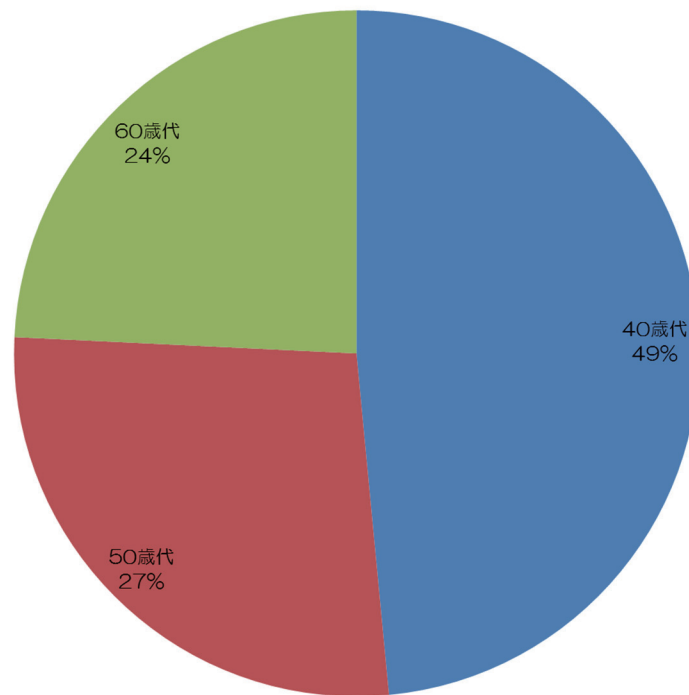
検証では、レベル 1 から 3 までを行う。

第4節 訓練受講者向けアンケートおよびヒアリング結果

入所時、中間時、修了時にかけて集計したアンケートとヒアリングの結果を述べる。

4－1 訓練受講者の属性

図表 33 年齢構成

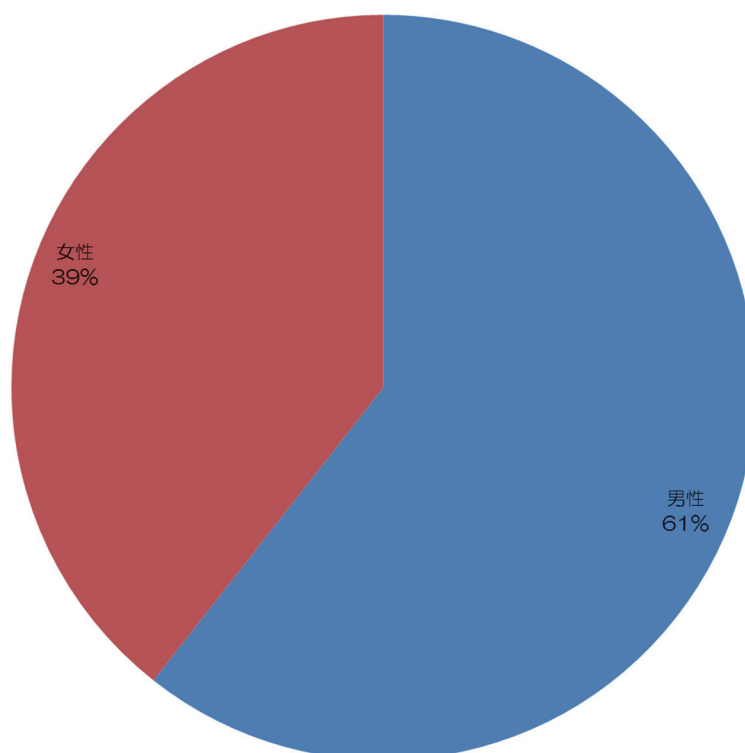


(人)

分野	40歳代	50歳代	60歳代
総 計	16	9	8
管理監督者分野	7	2	5
営業販売分野	3	1	1
介護分野	6	6	2

訓練受講者の年齢構成は、40歳代が16人（48.5%）、50歳代が9人（27.3%）、そして60歳代が8人（24.2%）である。「中高年齢者向けの職業訓練」とハローワークで紹介されたことが応募に至った経過として、多くの訓練受講者から情報を取れている。

図表 34 性別



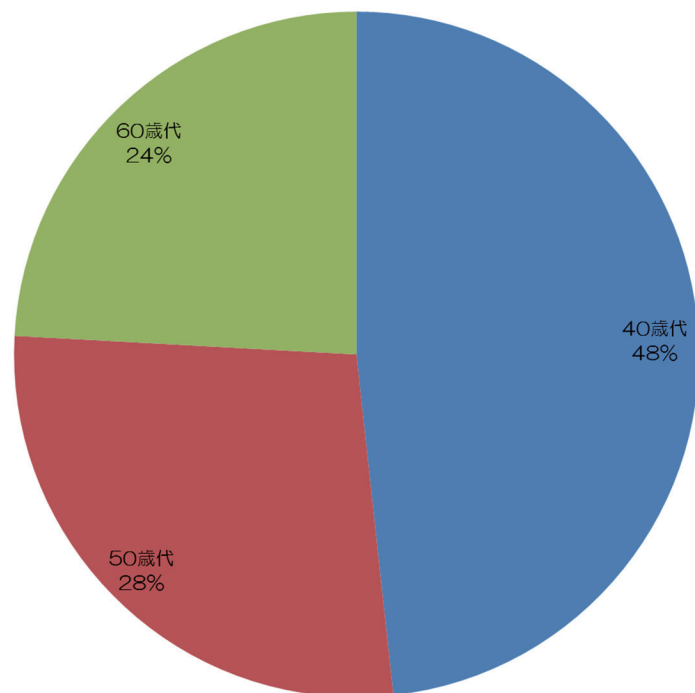
(人)

分野	男性	女性
総 計	20	13
管理監督者分野	10	4
営業販売分野	3	2
介護分野	7	7

図表 33 年齢構成、図表 34 性別より、年齢、性別の偏りなく委託訓練が実施できたといえる。

また第1節において、就職率が90.6%と述べた。ここで訓練受講者の属性と合わせて、就職者の属性を示す。

図表 35 就職者の年齢構成

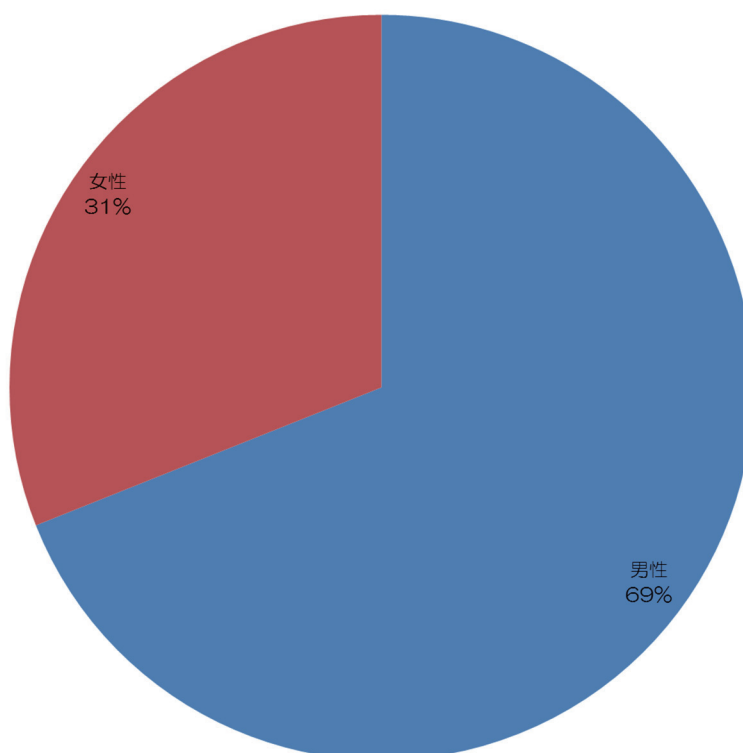


(人)

分野	40歳代	50歳代	60歳代
統計	14	8	7
管理監督者分野	6	2	4
営業販売分野	2	0	1
介護分野	6	6	2

図表 35 就職者の年齢構成より、就職者数は 29 人で、年齢構成は 40 歳代が 14 人 (48.3%)、50 歳代が 8 人 (27.6%)、そして 60 歳代が 7 人 (24.1%) である。割合において、入所者の値と大差なく、本訓練が中高年齢者向けとして、年齢を問わない内容であったと考えられる。

図表 36 就職者の性別



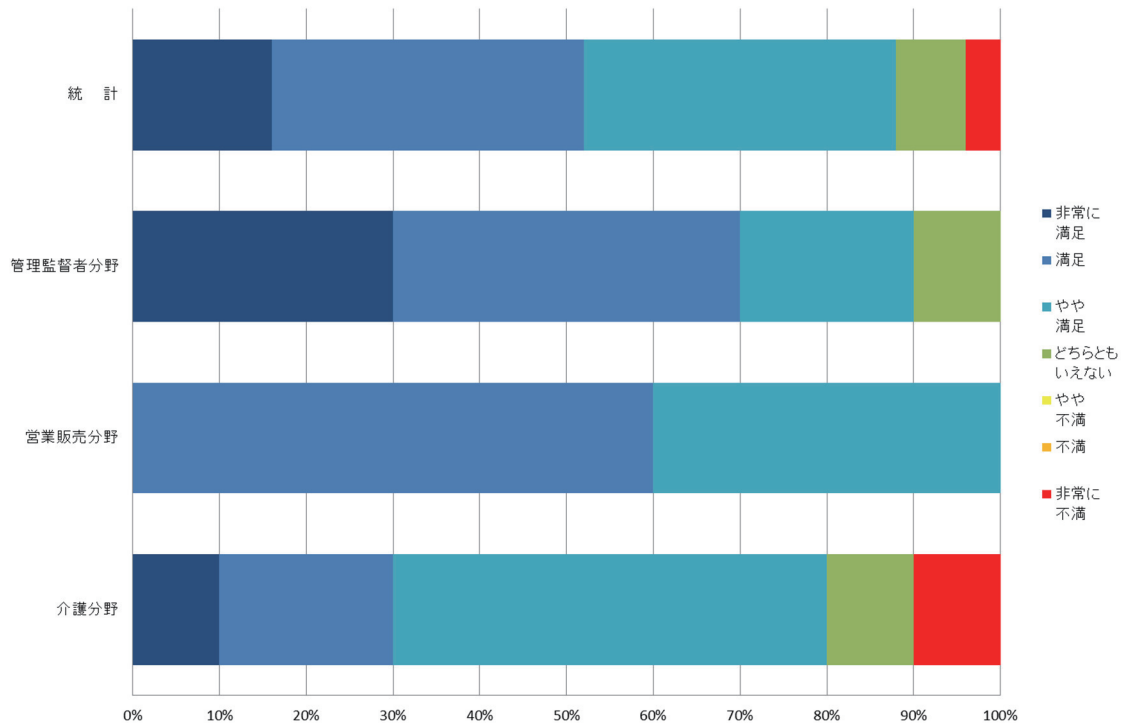
(人)

分野	男性	女性
統計	20	9
管理監督者分野	10	2
営業販売分野	3	0
介護分野	7	7

図表 36 就職者の性別より、内訳は男性 20 人（69.0%）、女性 9 人（31.0%）である。男性は訓練受講者全員が就職し、女性の就職者は 13 人中 9 人となった。女性の就職者数が少ない傾向となっている。また女性の就職率は 75%である。

4-2 満足度

図表 37 「訓練全体」に対する満足度



(人)

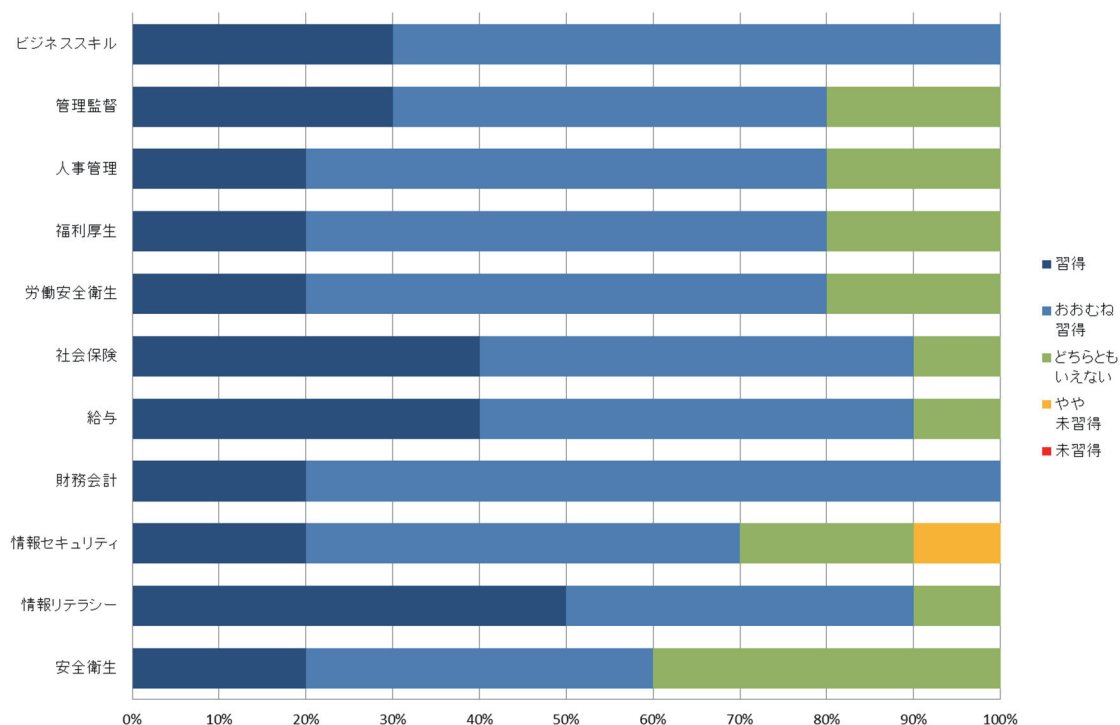
分野	非常に満足	満足	やや満足	どちらともいえない	やや不満	不満	非常に不満
統 計	4	9	9	2	0	0	1
管理監督者分野	3	4	2	1	0	0	0
営業販売分野	0	3	2	0	0	0	0
介護分野	1	2	5	1	0	0	1

図表 37 に示すのは、訓練修了時のアンケートにおいて、訓練全体の対する満足度について集計したものである。「非常に満足」「満足」「やや満足」と回答されたのが、3 科合計で 22 人（88%）である。

訓練受講者より、「中高年齢者向け職業訓練」として年齢を考慮したカリキュラム構成としたことへ満足しているとの回答があった。しかしながら、介護分野では高齢者の方から、介護実習は体力的に大変だったとの意見が挙がっている。

4-3 習得度

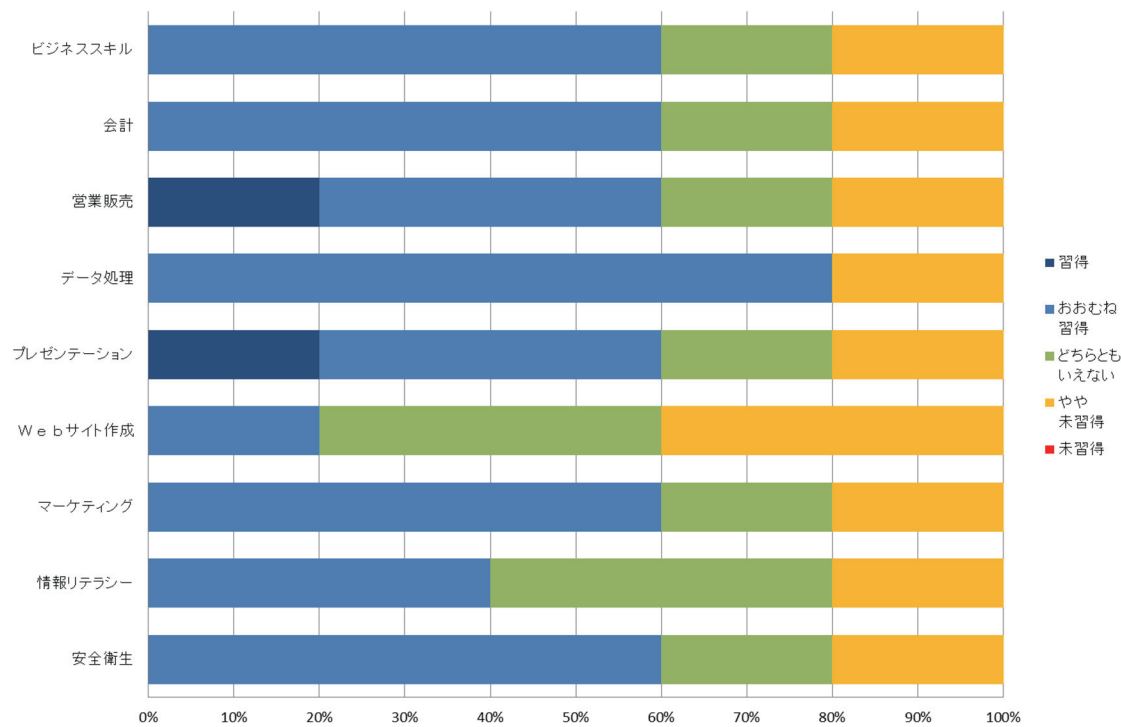
図表 38 習得度（管理監督者分野）



(人)

	習得	おおむね 習得	どちらとも いえない	やや 未習得	未習得
ビジネススキル	3	7	0	0	0
管理監督	3	5	2	0	0
人事管理	2	6	2	0	0
福利厚生	2	6	2	0	0
労働安全衛生	2	6	2	0	0
社会保険	4	5	1	0	0
給与	4	5	1	0	0
財務会計	2	8	0	0	0
情報セキュリティ	2	5	2	1	0
情報リテラシー	5	4	1	0	0
安全衛生	2	4	4	0	0

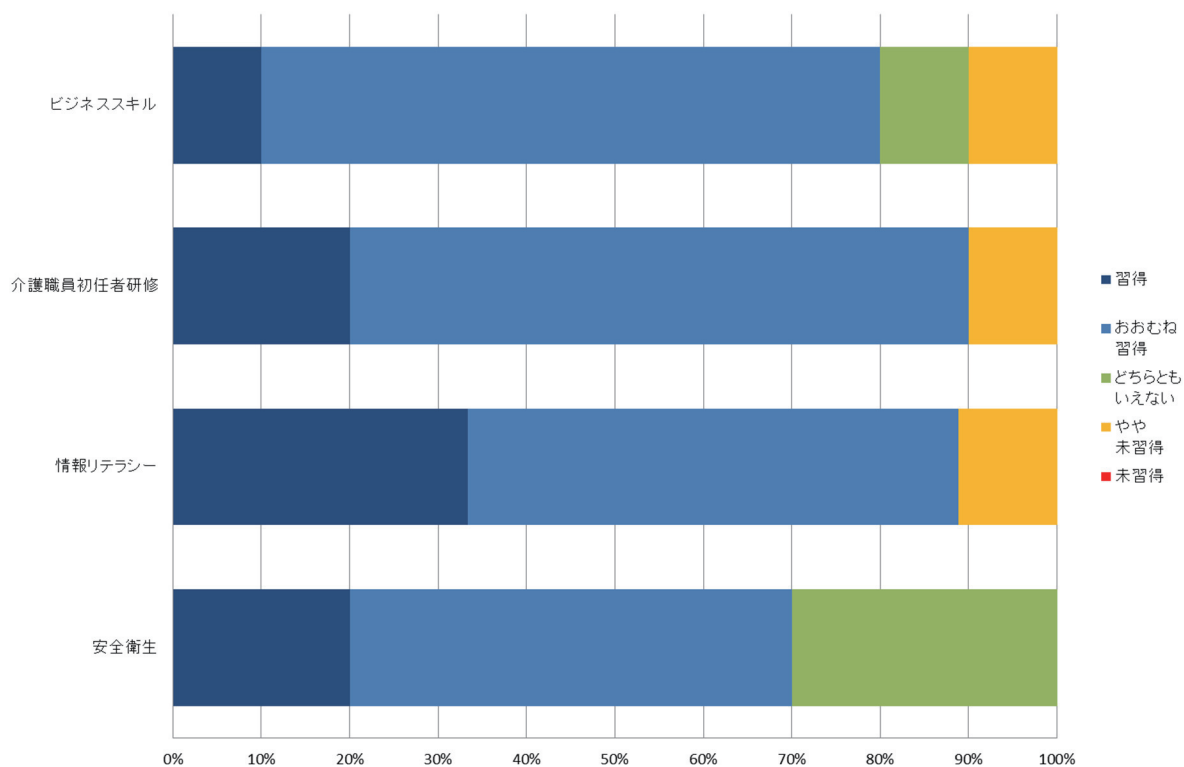
図表 39 習得度（営業販売分野）



(人)

	習得	おおむね 習得	どちらとも いえない	やや 未習得	未習得
ビジネススキル	0	3	1	1	0
会計	0	3	1	1	0
営業販売	1	2	1	1	0
データ処理	0	4	0	1	0
プレゼンテーション	1	2	1	1	0
Webサイト作成	0	1	2	2	0
マーケティング	0	3	1	1	0
情報リテラシー	0	2	2	1	0
安全衛生	0	3	1	1	0

図表 40 習得度（介護分野）



(人)

	習得	おおむね 習得	どちらとも いえない	やや 未習得	未習得
ビジネススキル	1	7	1	1	0
介護職員初任者研修	2	7	0	1	0
情報リテラシー	3	5	0	1	0
安全衛生	2	5	3	0	0

図表 38、図表 39、図表 40 に示すのは、訓練修了時のアンケートにおいて、訓練科目の習得度について分野毎に集計したものである。大多数の科目において、回答者の6割以上が「習得」、「おおむね習得」と回答している。中高年齢者の特性に合わせた訓練を実施することで、習得度に一定の効果があったと考えられる。

4-4 行動変容度

図表 41 自己アピールへの自信（入所時）

(人)

分野	自信がある	少し自信がある	あまり自信がない	自信がない
統 計	4	15	9	5
管理監督者分野	1	8	4	1
営業販売分野	0	3	1	1
介護分野	3	4	4	3

図表 42 自己アピールへの自信（中間時）

(人)

分野	自信がある	少し自信がある	あまり自信がない	自信がない
統 計	11	11	9	2
管理監督者分野	5	6	3	0
営業販売分野	2	2	1	0
介護分野	4	3	5	2

図表 43 自己アピールへの自信（修了時）

(人)

分野	自信がある	少し自信がある	あまり自信がない	自信がない
統 計	10	11	3	1
管理監督者分野	4	6	0	0
営業販売分野	2	2	1	0
介護分野	4	3	2	1

図表 44 就業へのイメージ（入所時）

(人)

分野	できる	なんとなくできる	できない
統 計	6	24	3
管理監督者分野	2	11	1
営業販売分野	0	3	2
介護分野	4	10	0

図表 45 就業へのイメージ（中間時）

(人)

分野	できる	なんとなくできる	できない
統 計	13	19	1
管理監督者分野	7	7	0
営業販売分野	0	5	0
介護分野	6	7	1

図表 46 就業へのイメージ（修了時）

(人)

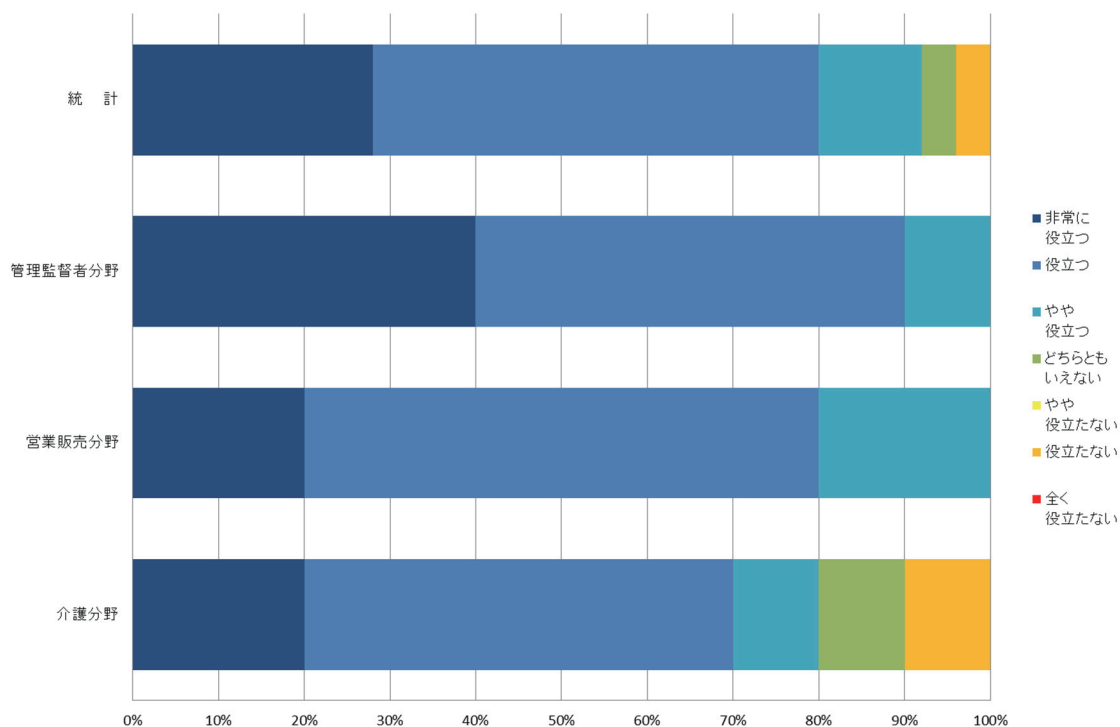
分野	できる	なんとなくできる	できない
統 計	17	8	0
管理監督者分野	8	2	0
営業販売分野	2	3	0
介護分野	7	3	0

図表 41 から図表 43 に示すのは、自己アピールへの自信である。図表 44 から図表 46 に示すのは、就業へのイメージである。各々 3 回にわたるアンケートにおいて、変化を測定し、全ての分野において入所時から修了時にかけて、自信が持てるようになり、就業へのイメージが構築されているが示されている。キャリアコンサルティング、企業実習、就職活動のグループ演習などにより、職業意識の転換、維持、向上が図られ、新たな就職への自信が向上している事と示していると考えられる。

4-5 有益度

4-4までの項では、図表32において示した指針をもとに分析した。それら以外に検証に資する項目として、訓練が就職活動やこれからの就業に対してのどの程度有益なのかを示す「有益度」について示す。

図表 47 「訓練全体」に対する有益度



(人)

分野	非常に役立つ	役立つ	やや役立つ	どちらともいえない	やや役立たない	役立たない	全く役立たない
統計	7	13	3	1	0	1	0
管理監督者分野	4	5	1	0	0	0	0
営業販売分野	1	3	1	0	0	0	0
介護分野	2	5	1	1	0	1	0

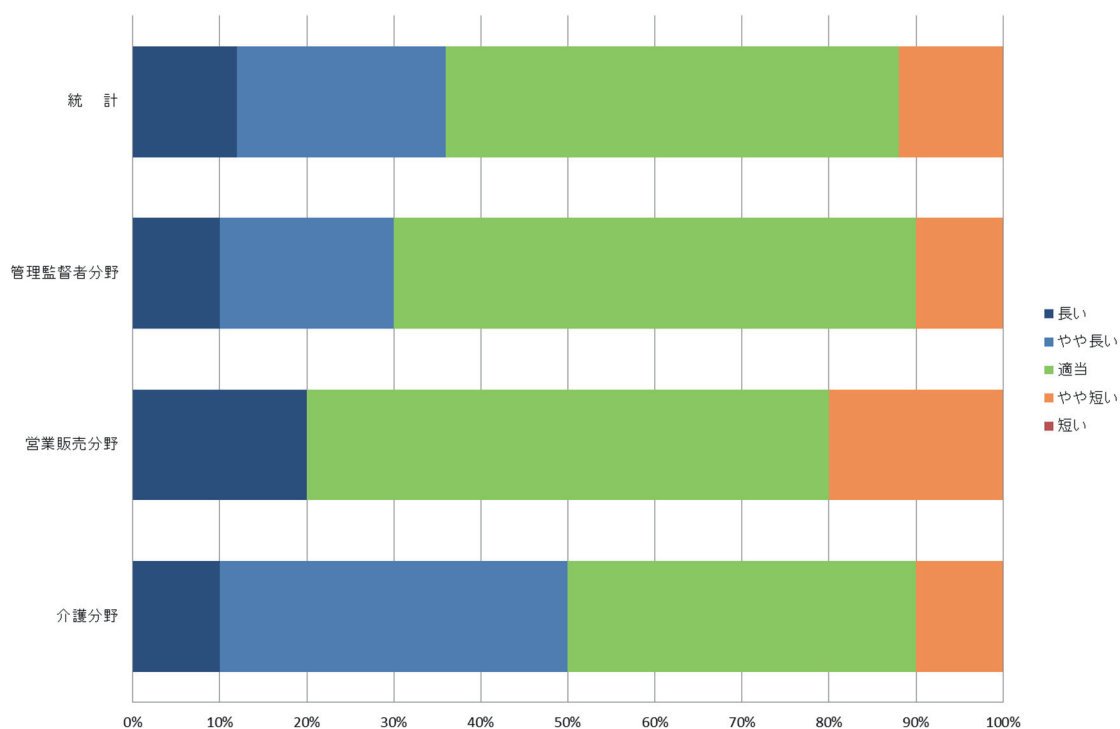
訓練修了時のアンケートにおいて、訓練全体の対する有益度について「非常に役立つ」「役立つ」「やや役立つ」と回答されたのが、3科合計で19人(80.5%)である。

また訓練受講者より、「中高年向け職業訓練」の継続的な実施を要望されたことも申し添える。

4－6 訓練時間

本研究では、中高年齢者の特性を鑑みて、長期の訓練期間が望ましいとして、訓練時間を長めに設定した。受講者からのアンケート結果を図表 48 に示す。

図表 48 訓練期間について



(人)

分野	長い	やや長い	適当	やや短い	短い
統 計	3	6	13	3	0
管理監督者分野	1	2	6	1	0
営業販売分野	1	0	3	1	0
介護分野	1	4	4	1	0

訓練修了時のアンケートにおいて、訓練期間の対する質問に対して「適当」と回答されたのが、3科合計で13人（52.0％）である。訓練期間について、訓練受講者に対しては適当であったと考えられる。

第5節 特記事項

5-1 介護分野のカリキュラムについて

第3章第3節において、介護分野：職場で役立つ介護職員初任者研修&パソコンスキルコースのカリキュラムを示している。実施した訓練では、訓練受講者が中高年齢者という年代層を踏まえて、就職活動が長期化することを想定して、入所後2ヶ月のなるべく早い段階で、「介護職員初任者研修」を取得できるようにカリキュラムを作成した。資格を持った状態で、その後2ヶ月間訓練を受講する。前半では介護職員初任者講習、後半では情報リテラシー、企業実習と介護技術の復習練習とすることで、就業に向けてイメージが構築され、就職が決まっていく流れとなった。

結果として、介護分野における訓練修了後3ヶ月の就職率100%であった。内訳は14名中12名が介護福祉分野である。修了時で12名決まっていたが、訓練修了の2週間前から内定を獲得する訓練受講者が多かった。

5-2 グループワークについて

第3章において、各分野のカリキュラムを示している。「グループワーク」については、訓練の各項目に取り入れることにより、訓練受講者同士が情報を共有し、信頼関係に基づいた自己開示、訓練受講者自身の気づきに繋がった。

グループワークの活用例として、

- ・応募企業へ面接に行った訓練受講者がその報告を実施機関と他の者へ行うことで、訓練受講者同士で面接に関する情報を共有し、次の就職活動に活用していた
- ・面接練習のグループワークでは、「面接官」「応募者」「観察者」に役を割り当てそれぞれ体験し、多角的な視点を養っていた。また訓練受講者自身で想定問題集を作成することや、女性だけのグループ、年代別のグループでの実施など、グループワーク実施方法に係る提案が訓練受講者からなされ、主体的に訓練に取り組んでいた
- ・グループワークを多く取り入れた結果、キャリアのたな卸し、キャリアプランの構築、再検討につながる。グループワークでは、グループの中に一人キャリアプランが明確な人を配置することにより、プランが明確な者から刺激を受けながら、迷いがある者は方向性を考えることができる。これは講師の目線ではなく、同じ者の目線によってキャリアを考えることにつながる

以上の事が、挙げられる。

5－3 カリキュラム外の項目について

実施機関から提案されたカリキュラムでは明記されていないが、各分野において、毎朝任意の時間でのスピーチが実施されていた。訓練受講者持ち回りで、題材は自由、時間については3分間が主流である。

自己開示による自分自身の振り返り、経歴の棚卸しなどキャリアコンサルティングにつながり、訓練受講に対するモチベーションや職業意識の転換、維持、向上の一助となったことが実施機関より報告されている。